



BROOKLINE COMMISSION FOR WOMEN

アジア系住民に対するヘイトおよび女性に対する暴力を非難する AAPI (=アジア系および太平洋諸島系アメリカ人) コミュニティとの連帯声明*

ジョージア州で起こったアジア系およびアジア系アメリカ人女性 6 人を含む 8 人の悲劇的な殺人事件に対して、Brookline Commission for Women はブルックラインおよび全国の AAPI コミュニティと共に悲しみおよび連帯を表明します。私たちは特に女性に対する暴力として現れる、アジア系の人々に対する外国人排斥や人種差別を強く非難します。

これらの恐ろしい行為は、新型コロナウイルスのパンデミックに直面し、AAPI コミュニティがアジア系の人々に対する暴力の問題に取り組んでいる最中に起こりました。女性に対する暴力が被害者による怒りの反応を引き起こすことはめったになく、歴史的にアジア系女性に対する有害なステレオタイプがあるため、AAPI の女性は特にこの種の暴力を受けやすくなっています。アジア系アメリカ人に対するヘイト事件は 2020 年に約 150% 近く増加し、アジア系アメリカ人の女性が標的となる確率は 2 倍になりました。過去 1 年間で、マサチューセッツ州だけで少なくとも [67 件](#) のアジア系住民へのヘイト事件が報告されています。

私たちはブルックラインがこの種の人種差別と無縁でないことを知っています。

アジア系住民へのヘイトは、[1875 年のペイジ法](#)、第二次世界大戦中の日系アメリカ人の強制収容、東南アジアでの米国の武力衝突によって発生した難民の強制移住、9/11 以降のイスラム系や南アジア系コミュニティへの監視、パンデミック時のアジア系企業や経営者に対するボイコット、破壊行為、嫌がらせなど、何世紀にもわたって米国の法律や対策に見られる性差別、外国人排斥、人種差別に基づいています。これを止めなければなりません。

私たちは女性に対する不平等、差別、攻撃を告発し、記録し、立ち上がることでのみ、変化が起こると信じています。これを今日実行します。

Brookline Commission for Women は沈黙させられ、疎外され、脅迫を受け、無視されると感じている AAPI メンバーに手を差し伸べ、声を聴き、敬意を示し、支援します。そして、ブルックラインが誰にとっても安全で、すべての家族が繁栄できるように、私たちは人種差別や女性蔑視に反対する活動を続けていきます。

*Brookline Commission for Women の使命は、すべての女性のために平等と正義を促進することです。